

3月27日(水) 本年度第33回(通算2953回)18時30分～ 釧路プリンスホテル
『坂本新世代育成基金贈呈式』

担当/理事会・青少年委員会

☆お客様

花畑 教之様、植本 健裕様(メーヴェン釧路ハンドボールクラブ) 清水 輝彦様(釧路音楽協会)
多田 佳美様(釧路幣舞中学校)

☆出席報告【会員総数79名 免除6名 出席計算に用いた会員数79名】

本日の出席率 出席者 30名 メーキャップ 5名 本日の出席率 44.3%
前々回の出席率 出席者 38名 メーキャップ 25名 本日の出席率 79.7%

☆ニコニコ献金

- ・坂本新世代基金支援贈呈式よろしくお祈りします～小林 裕幸君
- ・3団体の皆様おめでとうございます ～大友 淳君

☆《小林会長》☆



皆さんこんばんは。先週の土曜日ですが、親睦家族委員会の会員の皆様で、室蘭の地へ転勤されます、寺岡さんの送別会があり、ご招待を受け大友幹事と参加してまいりました。私の年度の7月の入会ですから、わずか9カ月の間でしたが、石森親睦委員長はじめ委員会の皆様の素晴らしいフォローのもと、とてもいい思い出と友人が出来たと、お話されておりました。後任の方も入会を約束していただき、私も安堵したところであります。

家庭集会ですが、今年度はロータリー研修委員会の北川委員長に尽力いただいております、最終の家庭集会を、5月に予定しております、今回は、釧路西ロータリークラブとの合同の家庭集会という設えで開催する事となりました、西クラブの皆さんと、情報交換・親睦を深める、よい機会となりますので、たくさんの方の会員の皆様の参加を期待しております。

さて本日の例会ですが、坂本新世代基金贈呈式となっております、理事会にて基金の贈呈先として決定させていただきました、釧路音楽協会様、レーヴェン釧路ハンドボールクラブ様・幣舞中学校吹奏楽部様の三つの団体の皆様にお越しいただいております、後ほど、それぞれの活動等お話しただければと思います。基金につきましては、次世代を担う青少年のために有効に活用していただきますこと、それぞれの団体の皆様が益々のご活躍されますことをご祈念申し上げます、挨拶とさせていただきます。本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

☆《宮下副幹事》☆



【 お知らせ 】

1. 国際ロータリー第2500地区ローターアクト第3ブロック春の交流会 第2回ブロック会議本登録のご案内が来ています
回覧していますので、参加希望の方は申込書にご記入ください。

【 回覧 】

1. ザ・ロータリアン4月号を回覧しています。

坂本新世代育成基金贈呈式

釧路音楽協会 会長 清水輝彦様



本日は、坂本新世代基金に呼ばれましてとてもうれしく思っております。実は、3回目でこんなに頂いていいのかと思うと同時に、これだけ期待されてるのかなと言うことと、それを含めてすごく感謝しております。

さっそくですが、音楽協会のジュニアコンサートについてお話しさせていただきます。今年で54回目で、音楽協会が出来てから一度も欠かせずおこなっている事業です。釧路の方にとっては、馴染みのある事業です。最初はステージに立ち、皆様に聞かせることは夢の様でした。音楽教室の発表会はそれなりに手作り感があり、私も好きでした。それとは別に音楽会というものは、厳しさとか大変さとかを知っていただくのも大事かなと考え、音楽教室とはわざと異質なものを目指しておこなっております。

今日持ってきたのは、ジュニアコンサートのチラシです。自分の顔がチラシや、新聞に載ることはなかなかないかと思います。ジュニアに出た子に聞くと記念に取ってあると言うことです。こういうことが皆さま方の支援に支えられて、個人個人が成長して、次の世代に繋がっております。本当に3年という長きに渡りご支援いただきまして、音楽協会としては、嬉しいだけでなく感謝しております。今年は11月2日の土曜日にまなぼっとの大ホールでジュニアコンサートが開催されます。どうぞそこにお足を運んで頂きたいと思います。

本当に心から感謝をこめてお礼の言葉とさせていただきます。本日は誠に有り難うございます。

メーヴェン釧路 GM花畑様



本日は釧路北ロータリークラブ様大変お世話になり有り難うございます。坂本新世代基金支援贈呈式ということで、私どもメーヴェン釧路ハンドボールクラブも3回目で非常にありがたく思っております。私どもハンドボールクラブは、2009年6月にスタート致しまして、10年目になります。昨年は、北海道で小学生が男子も女子も優勝することが出来ました。京都への全国大会に出場させていただきました。その時にこの基金を使用させていただきました。誠に有り難うございました。その大会でメーヴェン釧路の名前が紹介され、全国区になってきております。これも皆様方のご支援の賜物と思っております。

他には中学生女子で、北海道を代表する選手を2名出ております。北海道選抜で全国大会にも出場しております。味も素トレーニングセンターで全校選抜でのトレーニングも参加しております。とにかく10年が、20年・30年続くようにクラブ活動をやって行きたいと思っております。今まで、ご支援いただいて活動としては、大変助かっております。

いつもいつもご支援いただき感謝の気持ちでいっぱいです。メーヴェン釧路ハンドボールクラブを代表してお礼申しあげます。いつも有り難うございます



メーヴェン釧路コーチ上本様



本日は、名誉あるこのような基金に3年連続ご推薦いただきまして誠に有り難うございます。先程GMから説明有りましたが、本年6月には10周年を迎えます。現在メンバー構成としては、小学生が35名・中学生が16名で選手が51名おります。他に指導・運営しているスタッフが5名おります。指導の中では、あきらめない心であったり、逃げない心であったり気持ちを作る指導をしております。

2015年に初めて全道優勝を致しまして、昨年2018年もアベック優勝をすることが出来ました。京都府で行われた全国大会へも2回出場しております。そういう時に、皆さまのご支援が本当にありがたいなあと思います。地元では、11月2日に日本リーグの開催の後3日と4日に全道の小学生を集めた大会を我々が主催して、釧路の場で子供たちの交流の場を作って行ければと思います。僕らは常に、ハンドボールに携わる者として、子供たちにハンドボールを選んで頂きありがとうと言う気持ちでこれからも指導してまいりたいと思います。今回頂いたご支援大切に使用していきたいと思っております。本当に3年連続有り難うございます。

幣舞中学校吹奏楽部顧問 多田様



この度は、新世代基金ご援助頂き誠にありがとうございます。幣舞中学校昨年もお援助頂きました。本当に感謝しております。楽器については、非常に古い物が多く、打楽器などは叩くと音が狂って来ており、昨年の基金で楽器の一部を購入させて頂きました。

現在は、1・2年生21名おります。昨年度は、14年目にして初めて金賞を取ることが出来ました。本当に皆さまのおかげと思っております。子供たちに、北ロータリークラブの方々のおかげで楽器が購入できたんだよと話したら、そういう方々迄応援してくれているんだと、子供たちの励みになっております。

今年も、ご支援いただけると言うことで、2年連続金賞を取りたいと子供たちも頑張っております。私も微力ながら、子供たちの力になって音楽を通して子供たちの成長を見れたらいいなと思っております。

本当に有り難うございました。

奉仕プロジェクト 本間明美理事



みなさま こんにちは。それでは、坂本新世代育成基金について少しお話させていただきたいと思っております。皆様のお持ちの活動計画書の大抵、105Pあたりに坂本新世代育成基金規約が掲載されておまして、「この基金は、1996～97年度に当クラブ坂本一会員がガバナーに就任し、その職責を全うされたことを記念し、更にはガバナー年度に実施された「新世代会議」の成果を基に創設された。その主旨はクラブ会員の浄財を原資とし、外部寄付者の支援も仰ぎながら、ロータリーと地域社会が手を結ぶ為の奉仕の理念を目指す事業の一躍として、次代を担う新世代の健全育成を支援・褒賞するものである。」と記載されております。

もう少し、追加説明をさせていただくと坂本新世代育成基金の始まり

は、1996年アルゼンチンのアレシヘスロータリークラブのルイス・ビセンテ・ジアイ RI 会長が「築け未来を 行動力と先見の眼で」というテーマを掲げられ、ジアイ RI 会長は若い人々にロータリーのプログラムと活動にもっと参加してもらうことこそ、ロータリーの将来を確かなものとするためのカギであると強い信念を抱いておりました。

1996年のカルガリー RI 国際大会で「成功と失敗を分かち要素は、未来へのビジョンです。これはかつてないほど、真実であると言えます。新世代は未来への投資です。今日から、築き始めようではありませんか」とのべられ「新世代」という言葉を初めて使いました。

このジアイ RI 会長のテーマを受けて、故坂本一ガバナーが、釧路北ローターアクトの例会で、講演されました。その後、分区の会長幹事会で検討しその年の IM において「新世代を語る 21 世紀の釧路」というテーマで約 270 名のロータリアンを集め盛大な会合が開催されました。そして、その会合の成功を記念して、坂本新世代育成基金が設立されました。当時の釧路北ロータリークラブメンバーの皆さんで、大切な基金の浄財が枯渇しない方法を様々検討して、現在の形となりました。

この坂本新世代育成基金は、皆様の日頃のニコニコ献金、ロータリー財団の認証ポイントの利用など 1 つのアクションを起こすことにより、坂本新世代育成基金へも寄付され、1 つのアクションで 2 つの奉仕活動が可能になります。ロータリー財団への寄付の際には、是非、「認証ポイントの利用します」、と一言添えて行って頂けると、ロータリー財団へ支払う寄付金の金額は変わりませんが、同時に坂本新世代育成基金へも寄付される仕組みとなっております。どんなに、素晴らしい仕組みであっても、皆様に利用して頂いてこそ、の、仕組みです。同じくニコニコ献金の一部も坂本新世代育成基金への寄付金となっておりますので、皆様の暖かいご協力をお願いいたします。

最後になりますが、坂本新世代育成基金は、1998 年から現在までの 20 年間、のべ 58 の団体 やクラブ事業のなどに 1200 万円以上支援しております。これは、とても大きな支援と輪となって広がっております。例えば、大進女子アイスホッケーチーム、寿小蝦夷太鼓、絵本の読み聞かせをおこなっている団体、また、家庭で読まなくなった絵本を回収して、希望する家庭や児童館へ無償配布などしている団体など、様々の活動へ支援して参りました。これからも、坂本新世代育成基金の支援の輪が大きく広がることをせつに願っております。

今週のスナップ

